

6. 作物別使用指針

(1) 移植水稻

① 除草剤の種類と適用草種一覧

処 理	雑 草 名	一年生		多年生				浮遊生	人 畜 毒 性			
		ノ ビ エ	そ の 他	マ ツ バル イ	ホ タ オモ ダ カ	ウ リ カ ワ	オ モ ダ ツ カ	ヒ ク セ ム シ ロ イ リ		コ ウ キ ヤ ガ ラ	浮 藻 草 類	
時期	方法	除草剤名										
初 中 期	土 壌 処 理 (湛 水 散 布)	イノーバDXアップ 1キロ粒51		○	○	○	○	○	○	○		
		ウルフェース粒17		○	○	○	○	○	○	○	○	
		バッチリジャンボ粒		○	○	○	○	○	○	○	○	
		バッチリ1キロ粒		○	○	○	○	○	○	○	○	
		エンペラージャンボ 粒		○	○	○	○	○	○	○	○	
		エンペラー豆つぶ250 粒		○	○	○	○	○	○	○	○	
		アッパレZジャンボ 粒		○	○	○	○	○	○	○	○	
		ジェイフレンドジャン ボ粒		○	○	○	○	○	○	○	○	
		フジグラス粒17		○	○	○	○	○	○	○	○	
		ウィードレス粒17		○	○	○	○	○	○	○	○	
エーワンジャンボ粒		○	○	○	○	○	○	○	○			
中 期	こ く 浅 い 湛 水 散 布 又 は 落 水 散 布	バサグラン粒		○ ^{※2}	○	○	○	○	○			
中 後 期		ワイドアタックSC FL		○	○	○	○	○	○	○		
		クリンチャーバスM E液		○	○	○	○	○	○	○	○	
後 期	(茎 葉 散 布) 落 水 散 布	2, 4-Dアミン 塩 ^{※1}		○ ^{※2}								
		MCPソーダ塩液 ^{※1}		○ ^{※2}	○	○	○	○	○	○		
	散 布 湛 水	モゲトン粒				○	○	○	○			

※1 水稻として登録 ※2 イネ科を除く

除草剤使用指針

②使用指針(水田一年生雑草)

除草剤名	使用時期	使用量/10a	ノビエ殺草 限界葉期
イノーバDXアップ1 キロ粒51	移植直後～30日	1 kg	2.5
ウルフェース粒17	移植直後～30日	3 kg	2.5
バッチリジャンボ粒	移植直後～30日	40 g × 10個	2.5
バッチリ1キロ粒	移植直後～30日	1 kg	2.5
エンペラージャンボ粒	移植直後～ノビエ3葉 期(移植後30日まで)	25 g × 10個	3
エンペラー豆つぶ250 粒	移植直後～ノビエ3葉 期(収穫75日前まで)	250 g	3
アップレZジャンボ粒	移植後3～30日	40g×10個	3
ジェイフレンドジャン ボ粒	移植後5日～ノビエ3葉 期(移植後30日まで)	40 g × 10個	3
フジグラス粒17	移植後5～30日	3 kg	2.5
ウィードレス粒17	移植後5～30日	3 kg	2.5
エーワンジャンボ粒	移植後5～30日	30 g × 10個	砂壤土 2.5 壤土～植土 3
バサグラン粒	移植後15～55日 (収穫60日前まで)	3～4kg	-
ワイドアタックS CFL	移植後20日(イネ5葉期 以後)～ノビエ6葉期 (収穫30日前まで)	100ml	6
クリンチャーパスME 液	移植後15日～ノビエ5葉 期(収穫50日前まで)	1000ml	5
2, 4-Dアミン塩液	① 有効分げつ終止期～幼 穂形成期前(収穫60日 前まで) ② 幼穂形成始期(収穫60 日前まで)	① 80～120 g ② 60 g	-
MCPソーダ塩液	有効分げつ終止期～ 幼穂形成期前(収穫60日 前まで)	160～240 g	-

* 多年生雑草については、各除草剤の使用基準を確認してから使用してください。
 ※ 湛水条件で農薬を施用する場合には、規定の止水期間(1週間程度)を遵守し、用水の掛
 け流しを行わない等、水管理に注意し、水系への農薬の流出を防ぐこと。

③ 畦畔等除草剤の種類と適用場所

除草剤名	適用場所				方法	適用雑草	人畜毒性
	耕起前	刈取跡	休耕田	畦畔			
ラウンドアップマックスロード液	○	○	○	○	茎葉散布	一年生及び多年生	
グラスショット液				○			
タッチダウン i Q液	○※	○	○	○			
バスタ液	○※	○※	○	○			

※一年雑草のみ

④ 畦畔等除草剤使用指針

除草剤名	使用時期	10a当たり使用量 / 散布液量
ラウンドアップマックスロード液	雑草生育期(収穫前日まで)	一年生:200~500ml 多年生:200~1000ml 通常散布:50~100l 少量散布:25~50l
グラスショット液	雑草生育初期及び草刈り後10~20日(収穫前日まで)	300~500ml/ 通常散布 50~100l 少量散布 25l
タッチダウン i Q液	畦畔:収穫14日前まで(雑草草丈30cm以下)	一年生:250~500ml/50~100l 多年生:500~1000ml/50~100l
	休耕田:雑草生育期(雑草草丈50cm以下)	一年生:250~500ml/50~100l 多年生:500~1000ml/50~100l
	水田作物刈取後(雑草生育期)	一年生:250~500ml/25~100l 多年生:500~1000ml/25~100l
バスタ液	畦畔:収穫7日前まで(雑草草丈30cm以下)	一年生及び多年生 500~1000ml/100~150l
	休耕田:雑草生育期(雑草草丈50cm以下)	一年生及び多年生 500~1000ml/100~150l
	刈跡:雑草生育期	一年生:300~500ml/100~150l

除草剤使用指針

(2) 陸稲・麦類・いも類・雑穀類・豆類(種実)

作物名	除草剤名と 10a 当り使用量	使用時期と使用方法	使用上の注意
陸稲	ゴーゴーサン乳30 200～400ml	播種後出芽前(雑草発生前) 全面土壌散布	
麦類(小麦を除く)	ゴーゴーサン乳30 300～500ml	播種後出芽前(雑草発生前) 全面土壌散布	砂壤土～埴土
	トレファノサイド乳 200～300ml	播種後発芽前(雑草発生前)(収穫45日前まで) 全面土壌散布	覆土深が浅い(2cm)と発芽障害、生育抑制をおこすことがある。
小麦	ゴーゴーサン乳30 300～500ml	播種後(雑草発生前)～小麦2葉期(イネ科雑草1葉期まで) 雑草茎葉散布又は全面土壌散布	砂壤土～埴土
	トレファノサイド乳 200～300ml	播種後発芽前(雑草発生前) 全面土壌散布	覆土深が浅い(2cm)と発芽障害、生育抑制をおこすことがある。
コンニャク	バスタ液 200～300ml	雑草生育期植付前又は植付後萌芽前 雑草茎葉散布	
	バスタ液 300～500ml	収穫30日前まで(雑草生育期畦間処理) 雑草茎葉散布	
サトイモ	トレファノサイド粒2.5 4～6kg	植付後(植付7日後まで)全面土壌散布	
	バスタ液 300～500ml	収穫30日前まで(雑草生育期植付前又は畦間処理) 雑草茎葉散布	
サツマイモ	トレファノサイド粒2.5 3～4kg	挿苗前雑草発生前 全面土壌散布	花崗岩の風化した土壌の活着前土壌処理で生育抑制、縮葉することがある。
	トレファノサイド乳 200～300ml	挿苗後雑草発生前(収穫60日前まで) 全面土壌散布又は畦間土壌散布	
	バスタ液 200～500ml	収穫14日前まで(雑草生育期挿苗前又は畦間処理) 雑草茎葉散布	
ジャガイモ	ゴーゴーサン乳30 200～300ml	植付後萌芽前(雑草発生前) 全面土壌散布	

作物名	除草剤名と 10 a 当り使用量	使用時期と使用方法	使用上の注意
(ジャガイモ)	ロロックス水 100～200 g	植付直後～萌芽前 全面土壌散布	
ヤマノイモ	トレファノサイド乳 200～300ml	植付直後 全面土壌散布	
		生育初期（植付30日 後まで） 畦間土壌散布	
	ロロックス水 100～200 g	生育期（収穫60日前 まで）（雑草発生前～ 発生揃期） 畦間土壌散布	葉身への薬液付着で葉が 黄化褐色することがあ る。
	バスタ液 300～500ml	収穫30日前まで（雑草 生育期植付前又は畦 間処理） 雑草茎葉散布	
トウモロ コシ	ロロックス水 100～200 g	播種直後 全面土壌散布	スーパースイート系では 使用を避ける。
	ゴーゴーサン乳30 200～400ml	播種後出芽前（雑草発 生前） 全面土壌散布	
	ラウンドアップマックス スロード液 200～500ml	出芽前まで（雑草生 育期） 雑草茎葉散布	
アズキ	トレファノサイド乳 200～300ml	播種後出芽前 全面土壌散布	
ダイズ	ロロックス水 100～200 g	播種直後～出芽前 （雑草発生前～発生 始期） 全面土壌散布	
	トレファノサイド乳 200～300ml	播種後出芽前 全面土壌散布	マルチ栽培で薬害を起こ すので使用しない。
	ラウンドアップマックス スロード液 200～500ml	収穫前日まで（雑草 生育期：畦間処理） 雑草茎葉散布	
ラッカセイ	トレファノサイド乳 200～300ml	播種直後 全面土壌散布	
	ゴーゴーサン乳30 200～300ml	播種後出芽前（雑草 発生前） 全面土壌散布	

- 特に注釈が無い場合、対象雑草は以下のとおり
- トレファノサイド乳剤…一年生雑草（ツユクサ科、カヤツリグサ科、キク科、アブラナ科を除く）
 - その他の農薬…一年生雑草

(3) 野菜

作物名	除草剤名と 10a 当り使用量	使用時期と使用方法	使用上の注意
野菜類	ラウンドアップマックス ロード液 200～500ml	耕起前まで（雑草生 育期） 雑草茎葉散布	エダマメ、ハクサイ、キ ャベツ、アスパラガス、レタ ス、ネギ、タマネギ、ニ ンニク、ホリソウ、ニンジ ン、ダイコン、トマト、 ピーマン、トウガラシ類、キ ュウリ、ナス、ビワ (葉)、オリーブ(葉)、シ ヤク(薬用)、タラノキ、 薬用ニンジンを除く
キャベツ	ラウンドアップマックス ロード液 200～500ml	耕起前又は定植5日 前まで（雑草生育 期） 雑草茎葉散布	
	トレファノサイド乳 200～300ml	播種直後・定植前 (植穴掘前) 全面土壌散布	
		定植直後 畦間土壌散布	
	トレファノサイド粒2.5 4～6kg	定植前（植穴掘前） 全面土壌散布	
	ゴーゴーサン乳30 200～400ml	定植前（雑草発生 前） 全面土壌散布	
ダイコン	ラウンドアップマックス ロード液 200～500ml	耕起前又は播種前ま で（雑草生育期） 雑草茎葉散布	
		収穫5日前まで（雑 草生育期：畦間処 理） 雑草茎葉散布	
	トレファノサイド乳 150～200ml	播種直後 全面土壌散布	砂質系土壌、処理直後の 多量灌水は薬害を起す おそれがある。マルチは 使用しない。
ハクサイ	トレファノサイド乳 200～300ml	定植直後 畦間土壌散布	マルチは使用しない。
		播種直後・定植前 (植穴掘前) 全面土壌散布	
	バスタ液 300～500ml	収穫45日前まで(雑 草生育期定植前又は 畦間処理) 雑草茎葉散布	

作物名	除草剤名と 10a 当り使用量	使用時期と使用方法	使用上の注意
ウド（根 株 養 成 圃）	ゴーゴーサン乳 400ml	定植後萌芽前（雑草 発生前） 全面土壌散布	
		生育期（雑草発生 前）（収穫60日前ま で） 畦間土壌散布	
カボチャ （トンネ ル・マル チ栽培）	トレファノサイド粒2.5 ①2kg ②4～5kg	①定植前（植穴掘 前）（マルチ前） 全面土壌散布	
		②収穫45日前までの 生育期（トンネル除 去前） 畦間土壌散布	
カボチャ	バスタ液 300～500ml	収穫30日前まで（雑 草生育期定植前又は 畦間処理） 雑草茎葉散布	
キュウリ （露地）	トレファノサイド乳 200～250ml	播種直後・定植前 （植穴掘前） 全面土壌散布	砂質系土壌、地這栽培、 覆土深が浅い場合（播種 直後処理）で薬害のおそ れがある。
		定植直後 畦間土壌散布	
スイカ （トン ネル・マル チ栽培）	トレファノサイド乳 ①②200～300ml トレファノサイド粒2.5 ①2～4kg ②4～5kg	①定植前（植穴掘前） （マルチ前） 全面土壌散布	薬剤の気化により薬害を 生じるおそれがある。
		②収穫45日前までの 生育期（トンネル 除去前） 畦間土壌散布	
ゴボウ （露地栽 培）	トレファノサイド乳 200～300ml	播種直後 全面土壌散布	砂質土壌では使用を避け る。
レタス・ 非結球レ タス（露 地栽培）	ゴーゴーサン乳30 200～400ml	定植前（雑草発生前） 全面土壌散布	レタスは、6葉期未満で は薬害を生じることがあ る。
	トレファノサイド乳 200～300ml	定植前（植穴掘前） 全面土壌散布 定植直後 畦間土壌散布	
セルリー	ロロックス水 100～150 g	定植後（定植7日後 まで）（雑草発生 前） 畦間土壌散布	高温時には使用しない。

除草剤使用指針

作物名	除草剤名と 10 a 当り使用量	使用時期と使用方法	使用上の注意
ニンジン	ラウンドアップマックス ロード液 200～500ml	耕起前又は播種前ま で（雑草生育期） 雑草茎葉散布	
	トレファノサイド乳 200～300ml	播種直後 全面土壌散布	
	ゴーゴーサン乳30 200～400ml	播種後出芽前（雑草 発生前） 全面土壌散布	
	ロロックス水 ①100～200 g ②100～150 g	①播種直後 全面土壌散布 ②ニンジン3～5葉期 （収穫30日前まで） （雑草発生始期） 全面土壌散布	高温時には使用しない。 3葉期未満では使用しな い。
トマト・ ミニトマト (露地)	トレファノサイド粒2.5 4～5kg	定植前（植穴掘前） 全面土壌散布	
	トレファノサイド乳 200～300ml	定植直後 畦間土壌散布	
ナス（露 地）	トレファノサイド乳 200～300ml	定植前（植穴掘前） 全面土壌散布	根部が薬剤と接触すると 葉害を生じるおそれがある。
	トレファノサイド粒2.5 4～5kg	定植直後 畦間土壌散布	
	ラウンドアップマックス ロード液 200～500ml	収穫前日まで（雑草 生育期：畝間処理） 雑草茎葉散布	
イチゴ	レンザー液 100～150g	定植後（収穫120日 前まで） 全面土壌散布	後作にイネ科、マメ科、 ウリ科、ナス科、アブラ ナ科の栽培は避ける。
ホウレン ソウ	レンザー水 100～150 g	播種覆土直後 全面土壌散布	後作にイネ科、マメ科、 ウリ科、ナス科、アブラ ナ科の栽培は避ける。覆 土深は1 cm以上。
エダマメ	トレファノサイド乳 200～300ml	定植前（植穴掘前） 全面土壌散布	砂壤土～植土
	トレファノサイド粒2.5 4～6kg	生育期（収穫45日前 まで） 畦間土壌散布	
	ラウンドアップマックス ロード液 200～500ml	収穫前日まで（雑草 生育期：畝間処理） 雑草茎葉散布	
アスパラ ガス	ロロックス水 150～200 g	萌芽前（雑草発生前 ～発生始期） 全面土壌散布	

作物名	除草剤名と 10 a 当り使用量	使用時期と使用方法	使用上の注意
(アスパラガス)	ラウンドアップマックスロード液 200～500ml	収穫前日まで(雑草生育期：畝間処理) 雑草茎葉散布	
タマネギ	トレファノサイド乳 200～300ml	定植後(収穫75日前まで) 全面土壌散布	
	トレファノサイド粒2.5 4～5kg	定植後(収穫75日前まで) 全面土壌散布	
	ラウンドアップマックスロード液 200～500ml	生育期(春期)(収穫75日前まで) 畦間土壌散布	春播、秋播栽培
ショウガ	ゴーゴーサン細粒剤F 4～6kg	収穫7日前まで(雑草生育期：畝間処理) 雑草茎葉散布	
ネギ	バスタ液 300～500ml	植付後萌芽前(雑草発生前) 全面土壌散布	
	トレファノサイド乳 200～300ml	収穫前日まで(雑草生育期定植前又は畦間処理) 雑草茎葉散布	
	トレファノサイド乳 200～300ml	定植後雑草発生前(収穫30日前まで) 全面土壌散布	
	ロックス水 100～150 g	定植後(雑草発生前)(収穫30日前まで) 畦間土壌散布	葉身への薬液付着で葉の黄化褐色することがある。(露地)
ワケギ	トレファノサイド乳 200～300ml	定植後雑草発生前、但し収穫30日前まで 全面土壌散布	

- 特に注釈が無い場合、対象雑草は以下のとおり
- トレファノサイド乳剤、トレファノサイド粒剤2.5…一年生雑草(ツユクサ科、カタツリグサ科、キク科、アブラナ科を除く)
 - その他の農薬…一年生雑草

(4) 果樹

作物名	除草剤名と 10a 当り使用量	使用時期と使用方法	使用上の注意
果樹類 (カンキ ツを 除 く)	タッチダウン i Q液 (一年生) 250～500ml (多年生) 500～1000ml (スギナ) 1500～2000ml	収穫5日前まで (雑草生育期) 雑草茎葉散布	雑草草丈30cm以下 (一年 生雑草、多年生雑草)
	ラウンドアップマックス スロード液 (一年生) 200～500ml (多年生) 500～1000ml (マルバツユクサ) 500～1500ml (スギナ) 1500～2000ml	収穫7日前まで (雑草生育期) 雑草茎葉散布	
ナシ	トレファノサイド乳 300～400ml	春～秋期雑草発生前 (収穫30日前まで) 全面土壌散布	
	ロロックス水 300 g	雑草発生前～発生始期 (収穫90日前まで) 全面土壌散布	
	バスタ液 (一年生) 300～500ml (多年生) 500～1000ml	収穫前日まで (雑草生育期) 雑草茎葉散布	雑草草丈30cm以下
リンゴ	トレファノサイド乳 300～400ml	春期雑草発生前 (収穫150日前まで) 全面土壌散布	
	ロロックス水 300 g	雑草発生前～発生始期 (収穫30日前まで) 全面土壌散布	
	バスタ液 (一年生) 300～500ml (多年生) 500～1000ml	収穫21日前まで 雑草茎葉散布	雑草草丈30cm以下
ブルーベ リー	バスタ液 (一年生) 300～500ml (多年生) 500～1000ml	収穫前日まで 雑草茎葉散布	雑草草丈30cm以下

作物名	除草剤名と 10 a 当り使用量	使用時期と使用方法	使用上の注意
イチジク	バスタ液 300～500ml	収穫前日まで 雑草茎葉散布	雑草草丈30cm以下
カキ	ロロックス水 300 g	雑草発生前～発生始期 (収穫30日前まで) 全面土壌散布	
	バスタ液 (一年生) 300～500ml (多年生) 500～1000ml	収穫前日まで 雑草茎葉散布	雑草草丈30cm以下
キウイフ フルーツ	バスタ液 (一年生) 300～500ml (多年生) 500～750ml	収穫21日前まで 雑草茎葉散布	雑草草丈30cm以下
クリ	バスタ液 (一年生) 300～500ml (多年生) 500～750ml	収穫30日前まで 雑草茎葉散布	雑草草丈30cm以下
ブドウ	トレファノサイド乳 300～400ml	春～秋期雑草発生前 (収穫30日前まで) 全面土壌散布	ハウス栽培では使用しない。
	バスタ液 (一年生) 300～500ml (多年生) 500～1000ml	収穫前日まで 雑草茎葉散布	雑草草丈30cm以下
カンキツ	バスタ液 (一年生) 300～500ml (多年生) 500～1000ml	収穫21日前まで 雑草茎葉散布	雑草草丈30cm以下

■特に注釈が無い場合、対象雑草は以下のとおり

- トレファノサイド乳剤…一年生雑草(ツユクサ科、カヤツリグサ科、キク科、アラナ科を除く)
- その他の農薬…一年生雑草

(5)花き

作物名	除草剤名と 10 a 当り使用量	使用時期と使用方法	使用上の注意
キク (露地)	トレファノサイド乳 200～300ml	定植後 畦間土壌散布	

作物名	除草剤名と 10 a 当り使用量	使用時期と使用方法	使用上の注意
チューリップ	トレファノサイド乳 200～300ml	植付後～萌芽前 全面土壌散布	
ユリ	トレファノサイド乳 200～300ml	植付後～萌芽前 全面土壌散布	

■特に注釈が無い場合、対象雑草は以下のとおり

○トレファノサイド乳剤…一年生雑草(ツユクサ科、カヤツリグサ科、キク科、アブラナ科を除く)

○その他の農薬…一年生雑草

(6) 樹木類

作物名	雑草名	除草剤名と 10 a 当り使用量	使用時期と使用方 法	10 a 当り希釈水量及 び使用上の注意
樹木類	一年生雑草	スナッフショット粒 ①6～8kg ②15～20kg	①植付後(雑草発生前) ②植付活着後(秋期雑草発生前) 土壌表面散布	
	①一年生雑草 ②多年生雑草 ③マルバツユクサ ④スギナ ⑤雑かん木	ラウンドアップマックスロード液 ①200～500ml ②500～1000ml ③500～1500ml ④1500～2000ml ⑤原液	①～④ 雑草生育期 雑草茎葉散布 ⑤ 伐採直後 切株塗布処理	①～④ 通常散布 50～1000 少量散布 25～500 ⑤ 切り口直径：塗布量(5cm以下：2ml、5～10cm：3～6ml、10cm以上：10ml以上)
	一年生雑草(ツユクサ科、カヤツリグサ科、キク科、アブラナ科を除く)	トレファノサイド乳 200～300ml	植付後、生育期(雑草発生前) 畦間・株間土壌散布	1000
		トレファノサイド粒2.5 4～5kg	植付後、生育期(雑草発生前) 畦間・株間土壌散布	
林木	クズ・フジ等のつる類	ラウンドアップマックスロード液 原液又は2倍液	生育期 つる注入処理	つる径によって使用量は異なる。
林木(林地、放置竹林、畑地)	竹類	ラウンドアップマックスロード液 原液	夏～秋期 竹稈注入処理	5～10ml/本

作物名	雑草名	除草剤名と 10 a 当り使用量	使用時期と使用方法	10 a 当り希釈水量及び使用上の注意
林木苗 (スギ、ヒノキ、アカマツ、カラマツ)	一年生雑草(ツユクサ、ヤツリグサ、キ、アブラナ科を除く)	トレファノサイド乳 300ml	播種後～生育中 全面土壌散布	1000 播種床
エゾマツ、カラマツ、カンバ、スギ、トマツ、ヒノキ、ブナ、マツ ①地ごしらえ ②下刈り	一年生雑草、多年生雑草、雑草かん木	クロレートS粒 ①15～25kg ②10～20kg クサトールFP粒 ①15～25kg ②10～20kg デゾレートAZ粒 ①15～25kg ②10～20kg	雑草生育期(積雪時及び土壌凍結時を除く) 全面均一散布	強酸や反応性物質(肥料農薬、油、有機物質など)と同じ場所での保管や混用を避ける。 助燃性があり火気に注意する。
スギ、ヒノキ(下刈り代用)	ススキ、ササ類、クズ等の多年生雑草、落葉かん木	ラウンドアップハイロード液 500ml	雑草生育期(5月～6月) 雑草木茎葉散布	少量散布 5～100
スギ(下刈り)	クズ	アージラン液 10倍	6～7月 雑草茎葉散布	500
	ススキ	アージラン液 20倍	6月 雑草茎葉散布(局所処理)	300ml/株径30cmの株
	アルチバク、カラムシ、シロト等的大型雑草	アージラン液 20倍	雑草発生期 雑草茎葉散布	600

*林地での除草剤の使用は、樹種や対象雑草により使用基準が異なることがあるので、容器に記載されている内容を確認のうえ使用すること。

(7) 特用作物

作物名	除草剤名と 10 a 当り使用量	使用時期と使用方法	使用上の注意
チャ	トレファノサイド乳 300～400ml トレファノサイド粒 2.5 4～6kg	一番茶発芽前、摘採後(雑草発生前)(摘採40日前まで) 全面土壌散布	茶葉にかからぬように注意する。
	バスタ液 300～500ml	摘採7日前まで(雑草生育期畦間処理) 雑草茎葉散布	

■特に注釈が無い場合、対象雑草は以下のとおり

○トレファノサイド乳剤、トレファノサイド粒剤2.5…一年生雑草(ツユクサ科、カヤツリグサ科、キク科、アブラナ科を除く) ○その他の農薬…一年生雑草

(8) 飼料作物

作物名	雑草名	除草剤名と 10a当り使用量	使用時期と使用方法	使用上の注意及び 10a当たり希釈水量	
飼料用 トウモロコシ	一年生及び多年生雑草	ラウンドアップマックスロード液 200～500ml	出芽前まで(雑草生育期) 雑草茎葉散布	通常散布 :50～1000 少量散布 :25～500	
	一年生雑草	アルファード液 ①100～150ml ②150ml	①トウモロコシ3～5葉期(収穫45日前まで) ②トウモロコシ6～7葉期(収穫45日前まで) 雑草茎葉散布または全面散布	100～1500	
		ゴーゴーサン乳30 200～400ml	播種後出芽前(雑草発生前) 全面土壌散布	多雨時の使用は避ける。 70～1500	
		ラッソー乳 300～600ml	播種後出芽前 全面土壌散布	1000	
		ゲザプリムFL 100～200ml	播種後～トウモロコシ2～4葉期まで 全面土壌散布及び雑草茎葉散布	砂土を除く全土壌 50～1000	
		ゲザノンゴールドFL 140～260ml	マルチ前・播種前 全面土壌散布 播種後発芽前(雑草発生前) 全面土壌散布	70～1500	砂土での使用を避ける。
			生育期(トウモロコシ2～4葉期) 全面土壌散布	70～1000	
	一年生雑草及び多年生イネ科雑草	ワンホープ乳 100～150ml	トウモロコシ3～5葉期(収穫30日前まで) 雑草茎葉散布又は全面散布	70～1000	
	一年生雑草(イネ科を除く)	バサグラン液(ナトリウム塩) 100～150ml	トウモロコシの生育期(雑草の3～6葉期)(収穫50日前まで) 雑草茎葉散布又は全面散布	70～1000	

除草剤使用指針

作物名	雑草名	除草剤名と 10 a 当り使用量	使用時期と使用方法	使用上の注意及び 10a当たり希釈水量
(飼料用トウモロコシ)	一年生及び多年生広葉雑草	シャドー水 50～75g	一年生及び多年生広葉雑草2～5葉期(トウモロコシ3～5葉期) 雑草茎葉散布	1000
ソルガム	一年生雑草	ゲザノンゴールドFL 140～260ml	播種直後 全面土壌散布	砂土や降雨前後の使用は避ける。 70～1000
麦類	一年生雑草	サターンバアロ乳 500～750ml	播種直後～麦出芽前 全面土壌散布	壤土～埴土 播種深度が浅い場合や砂土の場合、薬害のおそれがある。 70～1000
牧草	ギシギシ類及びキク科の雑草	アージラン液 400～600ml	秋～春期(9～5月)ギシギシ類の展葉時期(採草14日前まで) 雑草茎葉散布又は全面散布	牧草・草地 散布後14日間の放牧及び採草は行わない。 80～1000
		アージラン液 50～80倍液とし雑草が充分濡れる量 (25ml/株又は100ml/m ²)	早春～秋期(1～11月)ギシギシ類の展葉時期 雑草茎葉散布(局所処方)	牧草・草地 (1) 夏期(7～8月中旬)のギシギシ類対象の全面散布は避ける。 (2) 散布後14日間の放牧、採草は行わない。 (3) 局所散布した周辺の牧草は飼料にしない。
	雑かん木	ラウンドアップマックスロード液 原液	伐採直後 切株塗布処理	切り口直径：塗布量、5 cm以下：2 ml、5～10cm：3～6ml、10cm以上：10ml以上
牧草：牧野・草地(更新・造成)	一年生雑草及び多年生雑草	ラウンドアップマックスロード液 200～500ml	耕起前まで(雑草生育期) 雑草茎葉散布 耕起整地後～播種当日まで(雑草発生前期) 雑草茎葉散布	少量散布 25～500

作物名	雑草名	除草剤名と 10a当り使用量	使用時期と使用方法	使用上の注意及び 10a当たり希釈水量
牧草： 牧野・草 地（更 新）	①一年生 雑草 ②多年生 雑草 ③一年生 及び多年 生雑草	タッチダウン i Q ①300～500ml ②500～750ml ③200～500ml	①②：耕起10日以前 （雑草生育期） ③：播種10日前～播 種当日（耕起整地後： 雑草発生揃期） 雑草茎葉散布	25～1000

(9) コケ類に登録のある除草剤

作物名	雑草名	除草剤名と 10a当り使用量	使用時期と使用方法	使用上の注意及び 10a当たり希釈水量
西洋芝 （ベン トグラ ス）	コケ類	ダイヤモンド水 200～600g	秋冬期芝生育期（コ ケ類生育期） 雑草茎葉散布	2回以内 200～3000
		タスク39DF 30～60g	芝生育期 （コケ生育期） 雑草茎葉散布	6回以内 100～2000
樹木等	ゼニコケ	ダイロン微粒剤 5～10kg	生育期 植栽地を除く樹木等 の周辺地に雑草茎葉 散布及び土壌散布	3回以内 公園、庭園、堤と う、駐車場、道路、 運動場、宅地、のり 面等

(10) 「樹木等*」に登録のある主要な除草剤

*: 樹木等…「植栽地を除く樹木等の周辺地（公園や駐車場、道路、庭園等の街路樹や庭園樹、立木等の周辺）」に使用できることを示す作物名

除草剤名	雑草名	使用時期と 使用方法	10a当り使用量	10a当り 希釈水量
アージラ ン液	①一年生雑草 ②多年生イネ科雑 草 ③多年生広葉雑草 ④クズ	雑草生育期 植栽地を除く樹木 等の周辺地に雑草 茎葉散布	①1000～2000ml ②3000～5000ml ③2000～3000ml ④5000ml	100～2000
サンダー ポルト 007FL	①一年生及び多年 生雑草 ②スギナ	①雑草生育期 （草丈50cm以下） ②雑草生育期 （草丈30cm以下） 植栽地を除く樹木 等の周辺地に雑草 茎葉散布	①500～1000ml ②1000～4000ml	1000

除草剤名	雑草名	使用時期と 使用方法	10 a 当り使用量	10 a 当り 希釈水量
ダイロン 水	一年生雑草	①雑草発生前 ②雑草生育期（ノニオン系展着剤を添加） ①植栽地を除く樹木等の周辺地に全面土壌散布 ②植栽地を除く樹木等の周辺地に雑草茎葉散布	①60～200 g ②200～400 g	1000
ハービック 粒	一年生及び多年生 雑草	①雑草発生前～生育初期 ②生育中期 植栽地を除く樹木等の周辺地に雑草茎葉散布又はたは全面土壌散布	①10～15kg ②15～20kg	
ハイバー X水	①一年生雑草 ②多年生雑草	①雑草発生前～生育期 ②雑草生育初期～中期 植栽地を除く樹木等の周辺地に雑草茎葉散布又は全面土壌散布	①300～600 g ②1000 g	①100～ 2000 ②200～ 3000
バスタ液	①一年生雑草 ②多年生雑草	雑草生育期 植栽地を除く樹木等の周辺地に雑草茎葉散布	①500～1000ml ②1000～2000ml	100～2000
バックア ップ粒	①一年生雑草 ②多年生雑草	雑草生育初期 植栽地を除く樹木等の周辺地に全面土壌散布	①10～20kg ②20～30kg	
ラウンド アップマ ックスロ ード液	①一年生雑草 ②多年生雑草 ③ササ類 ④ススキ 雑かん木	雑草生育期 植栽地を除く樹木等の周辺地に雑草木茎葉散布 雑かん木生育期 立木注入処理 原液又は2倍液	①200～500ml ②500～1000ml ③1000～2000ml ④1000～2000ml 1 ml /ヶ所、幹周7～8cm間隔 (地上30cm直径:ヶ所数) 10cm 以下: 2～3、10～15cm: 4～6、 16～20cm: 7～9、20cm以上: 10 以上	通常散布 50～1000 少量散布 25～500
レグロッ クス液	一年生雑草	雑草生育期 植栽地を除く樹木等の周辺地に雑草茎葉散布	300～500ml	70～1000